



2022-1 次隊 岡崎 友里

世界の新学期は〇月が多かった?!

日本では新年度を迎えたことと思います。みなさん、**進級、進学おめでとうございます!**

ヨルダンも…と言いたいところですが、ヨルダンの新学期は4月ではありません

ん。どういうことかという、新学期は**9月**。え?夏休み明け?!

ヨルダンだけ?日本が特別?…今回は、日本とヨルダン、そして世界の「新学期」について紹介します。

日本では、春と言ったら桜!入学式や始業式は桜と一緒に写真を撮るのが定番ですよね。世界は本当に広く、大きく分けて4月と9月のようですが、その月以外という国もありました。



4月	9月	4月、9月以外の月
日本 朝鮮民主主義人民共和国 パナマ インド パキスタン	アメリカ合衆国 カナダ メキシコ イギリス フランス ベルギー イタリア ロシア トルコ イラン サウジアラビア エジプト ヨルダン 中華人民共和国 台湾 ベトナム 約100か国以上	シンガポール (1月) オーストラリア (1月末~2月上旬) ニュージーランド (1月末~2月上旬) 大韓民国 (3月) アルゼンチン (3月) アフガニスタン (3月) タイ王国 (5月) フィリピン (6月) ミャンマー (6月) ドイツ (8月) デンマーク (8月)



※各国の学校によって異なる場合があります。(インターネットまとめサイト参考)

ご覧の通り、9月に新学期という国が圧倒的に多いことに驚きます。一体どうして夏休み明けに新学期を迎える国が多いのでしょうか…?そもそも日本が4月に新学期を迎えるのはいつから…?そしてなぜなのでしょう…?

1. 日本が4月に新学期を迎える背景

実は学校教育が始まった明治時代の初めは、西洋の文化が取り入れられ、日本でも9月に新年度を迎えることが主流でした。しかし、1886年に政府が会計年度（国や地方公共団体が1年間の収入と支出を整理する区切りの期間）を4月～3月に定めると、学校の新学期もそれに合わせて4月1日と変更されました。学校運営に必要なお金を政府から調達するためには、国の会計年度の始まりとなる4月に合わせないと不便が生じるためと言われています。そこから全国の小学校で4月1日に新年度を迎え、大正時代には高校や大学も4月に入学するようになったそうです。



（インターネットまとめサイト参考）

2. 海外の多くの国で9月に新学期を迎える背景

欧米では、昔から農作業の忙しさが夏の7月～8月に集中しており、前の年の秋に種をまいた「冬小麦」の収穫時期であったり、家畜を飼っている酪農家は夏に飼料となる干し草を作る時期であったりします。この時期そういった家庭では、子どもたちに作業を手伝わせたいと考えますが、一方で政府はなるべく多くの子どもたちを学校へ登校させたいと考えます。こういった両方の考えを考慮して、「農作業が落ち着く9月ごろに学年をスタートさせれば子どもが作業と学校を両立できる」という結論になり、現在まで続いているという説が有力なようです。（※異なる背景の国もあるようです。）



（インターネットまとめサイト参考）



今回は、ヨルダンと日本の違いの背景を調べてみることで、日本での「当たり前」は、世界では「当たり前」ではないことを知ることができました。それぞれの国の生活習慣や文化の違いに合わせて変化している背景も知ることができました。個人的には、4月に新年度を迎えることで桜をバックに記念写真を撮ることができるのが好きです。それぞれの新しい環境でドキドキのスタートを踏み出しているのでしょうか。みなさんにとってこの1年が素敵なものとなりますように。

Let's talk in Arabic

少し久しぶりのアラビア語！今回はアラビア語でそういうの？！使う機会は多くないけど、教えてもらって使いたくなったアラビア語シリーズです。



読み方：ガンマーザ



読み方：ハーズウク



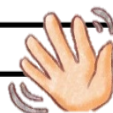
読み方：バンジーン



読み方：ラズナーメ

カレンダーも右から！

どこかでいつか使うかも？！知ってて損しないアラビア語でした！



では、また次回！ مع السلامة